

病院長名	小寺 泰弘
〒	460-0001
所在地	愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1
交通案内	名古屋地下鉄 名城線「名古屋城」下車徒歩1分 市バス 栄より基幹2系統。名古屋駅より基幹2系統、14系統。いずれも、市役所で下車（徒歩1分） 名鉄 瀬戸線 東大手駅（徒歩5分）



## □ 病院の特徴

2004年に独立行政法人に移行し、国立名古屋病院から国立病院機構名古屋医療センターに改称しています。現在まで名古屋の中部から北西部の医療圏の中心的な病院として医療を提供しつづけています。第3次救急指定病院、都会型総合病院で、新型コロナウイルスパンデミック以前には、年間救急搬送台数9000台を超えていました。また、当院は、臨床研究センターを併設しており、臨床試験、治験に関して豊富な実績を有します。病床数は656床です。近隣には名古屋城、名城公園、市役所、県庁があり、街の中心に位置するにもかかわらず緑も多く、景観にも恵まれた環境にあります。

## □ 研修プログラムの特徴

名古屋医療センター内科専門研修プログラム

【研修期間】3年

【研修目標】

地域の内科系医療/救急医療の中心的な役割を果たす病院の一員として多種多様な患者・疾患に対応できるように研鑽を積むとともに、高度な専門医療を習得することを目標とする。

【研修プログラム】

当院の内科は、血液、感染症、腎臓、膠原病、内分泌、神経、呼吸器、消化器、循環器分野などの専門的な診療科以外に、守備範囲の広い総合内科、腫瘍内科といった合計11診療科があり、貴重な疾患の診断、治療を経験することができるのが特徴です。

3年間の内科研修中にいくつかの診療科に重点をおいて内科医としての基礎を築くとともに、将来希望する専門領域の研修も可能です。

内科の重症症例数も豊富なため、内科研修で力をつけるには最適の環境と考えます。



## □ 主な連携施設

【連携施設・特別連携施設】名古屋大学医学部附属病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、中部ろうさい病院、国立病院機構東名古屋病院、名古屋セントラル病院、総合上飯田第一病院、名古屋市立大学病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、愛知医科大学病院、藤田医科大学病院、藤田医科大学ばんだね病院、国立病院機構静岡医療センター、愛知県がんセンター、久美愛厚生病院、公立陶生病院、春日井市民病院、中東遠総合医療センター、東海中央病院、新城市民病院、国立がん研究センター中央病院、名城病院、がん研究会有明病院、国立長寿医療研究センター、国立病院機構豊橋医療センター

## □ メッセージ

指導医（統括プログラム責任者 飯田 浩充）

当院では、新専門医制度開始以前から、後期研修プログラムとして、内科総合ローテーションコースを設けており、希望する内科を3か月間でローテーションする研修を行ってきました。3か月間、一つの診療科で研鑽すると、どの後期研修医もかなり力をつけることが可能です。当院にて専門研修を行うことで、内科医としての基盤をしっかりと築いていただけると確信しています。内科医としての基本的診療能力を身につけた後、さらに各サブスペシャリティ領域での研修に進むことで、生涯にわたり、裾野の広い医師として活躍できることになると考えます。是非、当院での、内科研修を考えてみてください。



## □ 募集要項

・採用予定人数	11人
・給与/月額	403,200円（基本給）
・当直/月	2~4回程度 ※給与は当院規定に準じて支給
・応募連絡先	担当者（給与係長） 羽山 健司 電話番号 (052) 951-1111 Eメール hayama.kenji.ew@mail.hosp.go.jp